

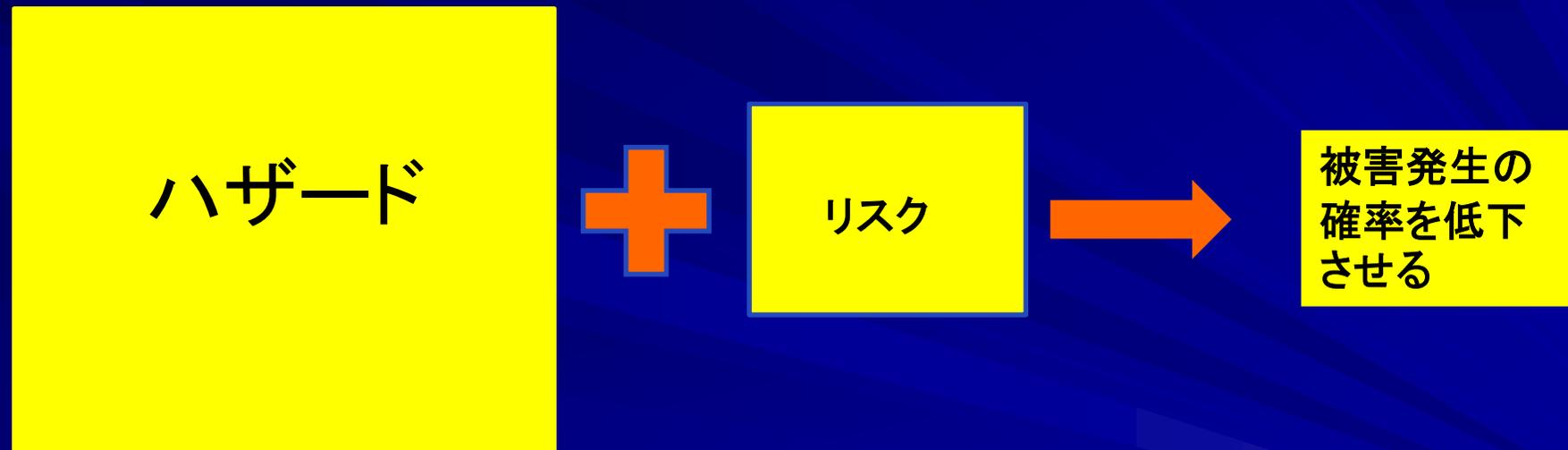
# 学校における 地震・津波に関する防災教育

東京学芸大学教授 渡邊正樹

# 東日本大震災以降の 学校防災に関わる国の動向

- 平成23年7月「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備について」緊急提言
- 平成23年9月「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議」中間とりまとめ
- 平成24年3月「学校防災マニュアル作成の手引き」
- 平成24年4月「学校安全の推進に関する計画」
- 平成24年7月 有識者会議最終報告
- 平成25年3月「学校防災のための参考資料「生きる力」をはぐくむ防災教育の展開」
- 平成26年11月中教審「学校における安全教育の充実について(審議のまとめ)」

# 地震・津波の発生は防げない



ハザード対策には限界があるが、リスク対策（適切な避難）で人的被害を減らすことが可能

# 安全指導の内容 (文科省調査H25年度末)

(単位:校)

	学校安全計画を策定している学校	安全指導について盛り込んでいる学校			
			生活安全の内容を盛り込んでいる学校	災害安全の内容を盛り込んでいる学校	交通安全の内容を盛り込んでいる学校
小学校	20,432	20,412 (99.9%)	20,293 (99.3%)	20,055 (98.2%)	19,957 (97.7%)
中学校	10,244	10,220 (99.8%)	10,032 (97.9%)	9,950 (97.1%)	9,619 (93.9%)
高等学校	4,755	4,715 (99.2%)	4,494 (94.5%)	4,532 (95.3%)	4,292 (90.3%)
中等教育学校	45	45 (100.0%)	42 (93.3%)	42 (93.3%)	39 (86.7%)
特別支援学校	1,071	1,062 (99.2%)	1,033 (96.5%)	1,035 (96.6%)	937 (87.5%)
幼稚園	9,940	9,783 (98.4%)	9,395 (94.5%)	9,261 (93.2%)	8,709 (87.6%)
計	46,487	46,237 (99.5%)	45,289 (97.4%)	44,875 (96.5%)	43,553 (93.7%)

防災教育の実施はどの校種も良好  
H23年度調査よりも改善がみられた

# 津波避難訓練 (文科省調査H25年度末)

(単位:校)

	津波浸水予想区域内に所在する学校	津波被害を想定した避難訓練を実施している学校
小学校	1,462	1,435 (98.2%)
中学校	736	693 (94.2%)
高等学校	383	317 (82.8%)
中等教育学校	4	1 (25.0%)
特別支援学校	59	58 (98.3%)
幼稚園	1,163	979 (84.2%)
計	3,807	3,483 (91.5%)

「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議」中間とりまとめ(2011年) より

## 2. 今後の防災教育・防災管理等の考え方と施策の方向性

### (1) 防災教育

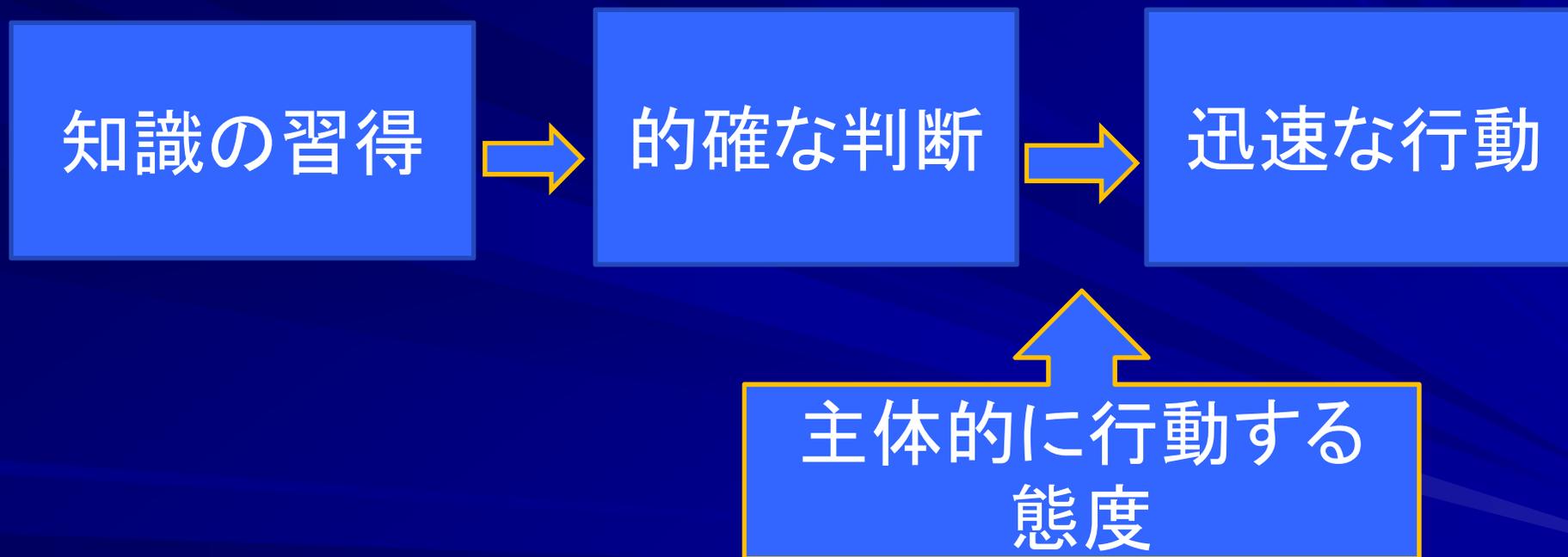
① 自らの危険を予測し, 回避する能力を高める防災教育の推進

② 支援者としての視点から, 安全で安心な社会づくりに貢献する意識を高める防災教育の推進

災害発生時に、自ら危険を予測し、回避するためには、自然災害に関する知識を身に付けるとともに、習得した知識に基づいて的確に判断し、迅速な行動を取ることが必要である。

その力を身に付けるには、日常生活においても状況を判断し、最善を尽くそうとする「主体的に行動する態度」を育成する必要がある。

# 適切な避難行動をとるためには



渡邊正樹「今、はじめよう！新しい防災教育」(2013年)光文書院より

# 避難訓練の考え方

東日本大震災以降，学校の特別活動等における避難訓練では，児童生徒等が自ら主体的に危険を回避して避難する実践的な取組が行われるようになってきた。

学校においては，教職員が主体となる避難訓練と児童生徒等の学習として行う防災活動の趣旨や目的を理解することが必要である。

中央教育審議会 スポーツ・青少年分科会 学校安全部会：学校における安全教育の充実について（審議のまとめ）2014

# 東日本大震災時に 防災訓練が役立たなかったケース

東日本大震災における学校等の対応等に関する調査研究  
(文部科学省, 2012)

- 通常の学習時間しか想定していなかった。
- 停電で放送機器が使えず、避難誘導できなかった。
- 通信網が遮断され、安否確認ができなかった。
- 生徒の引き渡しに時間を要した。
- 避難所の開設訓練を行っていなかった。
- 避難所運営と安否確認を同時に行わざるをえず、混乱が生じた。

フジテレビ「とくダネ！」  
で行った危険予測・回避  
の実験(2011)より

子どもたちは、机がない  
と避難行動がとれない!!



# これからの避難訓練

## 学校防災マニュアル作成の手引き(2012)

### ■ いろいろな避難訓練

地震に対する避難訓練	
<p><b>緊急地震速報 に対応する訓練</b></p>	<p>緊急地震速報の音源を利用し、直後にやってくる大きな揺れに対して、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に身を寄せる行動訓練。担任や授業者の指示下にいない場合(休み時間や清掃時間など)も想定した訓練も必要です。</p>  <p>清掃時の避難訓練▶</p>
<p><b>地震動を感知し、 身の安全を守る 訓練</b></p>	<p>わずかな揺れを感知した時点で緊急地震速報受信時と同じように、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に身を寄せる行動訓練。教室では「机の下にもぐって、机の脚をしっかりとつかむ」行動訓練ができますが、机がない場所にいる場合(移動教室時)や、休み時間なども想定した訓練が必要です。</p>  <p>机がない場合▶</p>
<p><b>地震動終息後、 より安全な場所に 移動する訓練</b></p>	<p>耐震化された校舎では、地震動直後に倒壊する危険性が低いと考えられます。しかし、引き続き強い余震が発生した場合には壁などが落下する危険や、火災などの二次災害も考えられます。これらを想定し、より安全な場所に素早く移動し、集合する行動訓練。屋外の運動場等に集合する訓練だけでなく、運動場が液状化で使用不能な状況や、津波の被害を想定した集合場所を設定して、訓練を行うことも重要です。また、季節や天候による適切な場所の設定についても考えておきましょう。</p>
<p><b>保護者への 引き渡し訓練</b></p>	<p>児童生徒等が在校中に災害が発生、その後下校措置として、安全が確保された場合、保護者への引き渡しや集団下校が行われることになります。保護者への引き渡し方法を確立し、実際に保護者とともに訓練をしたり、下校経路での危険を想定し、より安全な経路を通る訓練なども考えられます。(引き渡しの詳細については後述)</p>

# 危険予測・回避の学習内容

	危険予測	危険回避
知識の習得	危険な場所, 危険な行為, 危険な状況変化に関する知識	危険の回避方法に関する知識
適切な判断 (思考力・判断力)	危険なもの(事)は何かどのような危険が発生するのか	もっとも適切な危険回避は何か

渡邊正樹「今, はじめよう! 新しい防災教育」(2013年)光文書院より

従来は, 「危険の回避方法に関する知識」のみの学習だった。

# 適切な避難行動を妨げるもの

知識の習得



的確な判断



迅速な行動

正常性バイアス  
同調性バイアス



主体的に行動する  
態度

渡邊正樹「今、はじめよう！新しい  
防災教育」(2013年)光文書院より

# 教科等の連携を踏まえた指導

- 教科（普遍的な内容）と特別活動・総合的な学習の時間（地域性を考慮した内容）をつなぐ。

知識の習得 → 知識の活用

- 校外学習等で防災教育を実施する。

例：臨海学校の中で津波避難訓練を学ぶ。

# 地域との連携

防災教育の効果的な推進には地域との連携が不可欠である。各地域の地名には、過去の災害教訓を踏まえたものも少なくない。代々語り継がれてきた**災害教訓等の地域教材の活用**は、児童生徒等の意欲の向上につながり効果的である。

# 優れた実践から学ぶ 「防災教育チャレンジプラン」

●若い人たちの防災に関わる能力の向上を図るため、防災教育活動の情報提供の場としてこのサイトを運営しております●



## 防災教育 チャレンジプラン

[ホーム](#) | [サポーター用サイト](#) | [参加者交流広場](#) | [ご意見&質問箱](#) | [サイトマップ](#)

防災教育  
チャレンジプラン  
募集



2014年度  
チャレンジプラン  
団体の紹介



防災教育  
事例集  
→検索



防災教育  
Q & A



チャレンジプラン  
実行委員会の  
コラム



防災教育に役立つ  
リンク集



## 防災教育チャレンジプラン実践団体の報告

昨年度、「復興教育特別大賞」受賞の3校をピックアップ!



釜石市立釜石東中学校  
発表資料 | 報告書 | 発表の様子



南三陸町立歌津中学校  
発表資料 | 報告書 | 発表の様子



大河原町立金ヶ瀬中学校  
発表資料 | 報告書 | 発表の様子

防災教育って何をしたらいいの？チャレンジプラン実践団体の最終報告をもとに、防災教育で使える素材を知りたい、イベントとして実施したい、総合学習や選択授業で実施したい、と3つの観点から分類しました。

### NEW!!

●「地域における防災教育の実践に関する手引き」を作成しました。詳しくは[こちら](#)。NEW!

●2015年2月21日に「2014年度防災教育チャレンジプラン活動報告会」を開催致しました。開催の様子は[こちら](#)。NEW!

●2014年度 防災教育チャレンジプラン受賞団体発表(速報) NEW!

●2015年度 防災教育チャレンジプラン実践団体発表(速報) NEW!

●2015年2月21日(土)に「2014年度防災教育チャレンジプラン活動報告会」を開催いたします。開催のおしらせと参加者募集案内は[こちら](#)。

●防災教育交流フォーラムin西日本開催のお知らせ

●2014年10月4日～5日に開催しました「2014年度防災教育交流フォーラム」の様子をアップしました。フォーラムの様子は[こちら](#)。

●2014年10月4日～5日に「2014年度防災教育交流フォーラム」を開催いたします。開催のおしらせと参加者募集案内は[こちら](#)。

●2015年度 防災教育チャレンジプラン募集開始!!  
募集のお知らせは[こちら](#)。

●2014年2月22日に「2013年度防災教育チャレンジプラン活動報告会」を開催致しました。開催の様子は[こちら](#)。



学校防災のための参考資料  
「生きる力」を育む防災教育の展開

文部科学省：学校防災のための  
参考資料「生きる力」を育  
む防災教育の展開，2013

# 防災教育の目標

- ア 自然災害等の現状、原因及び減災等について理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができるようにする。
- イ 地震、台風の発生等に伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができるようにする。
- ウ 自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする。

文部科学省：学校防災のための参考資料 「生きる力」を育む防災教育の展開，2013

# 自助を基盤として、 共助・公助を学ぶ

自らの命を守る**自助**とともに、自らが進んで安全で安心な社会づくりに参加し、貢献できる力を身に付けるための**共助**、**公助**に関する教育も重要であり、家族、地域、社会全体を見渡し、安全で安心な社会づくりに参画し、他の人も含め**安全で幸せに暮らしていく社会づくり**を目指す安全教育を充実させていく必要がある。

中教審「学校における安全教育の充実について(審議のまとめ)」(2014)より

# これからの防災教育では

様々な場面で、どのような危険が想定されるか、  
もし災害等が発生したらどのように身を守るか、

**想像力を働かせる学習を！**